

## 2021 年度ゼミ活動紹介

第 19 期 鈴木智也

小野晃典研究会 OB・OG の皆様，初めまして。第 19 期外務代表の鈴木智也と申します。この度は，OB・OG 会誌を通して，皆様にご挨拶できる機会を頂き，心から嬉しく思っております。私からは，2021 年度のゼミ活動について，簡単にではありますが，皆様にお伝えさせていただきます。



まず初めに，各期の活動を簡単にご紹介したいと思います。3 年生にあたる第 19 期生は，基礎文献レポートや解析技法レポートを通して，マーケティングを学ぶ上で必要となる知識をインプットするとともに，ディベートやケースメソッド，三田祭論文執筆などを通して，それらの知識をアウトプットすることに励みました。また，有志活動としてビジネスプランコンテストにも参加しました。さらに，秋学期からはそれぞれの役職の仕事を先輩方から教わり，ゼミ運営に携わりました。4 年生にあたる第 18 期生は，卒業論文を執筆しながら，統計分析技法レクチャーのアシストや三田祭論文の添削，各役職の引継ぎなど，いつも丁寧に指導してくださいました。

次に，今年度に行われた主な活動につきまして，時系列に沿って振り返りながらご紹介したいと思います。2021 年 4 月に第 19 期生が入会し，今年度の活動が開始されました。昨年同様，今年度も新型コロナウイルスの影響を受け，春学期のゼミは全面オンラインでの活動となりました。

6 月初旬には，「関西大学ビジネスプラン・コンペティション KUBIC」に参加しました。第 19 期生は 3 チームに分かれ，カレー業界や公共事業に焦点を当てたビジネスプランを練りました。約 2 か月間，先輩方や小野先生が親身にご指導してくださいました。その結果，2 チームが，優秀賞とテーマ部門賞を頂くことができました。



優秀賞獲得チーム

6 月中旬には，関西大学千葉貴宏ゼミナール，中央大学久保知一ゼミナール，東洋大学竹内亮

介ゼミナールと共に、インカレディベート大会を実施いたしました。新型コロナウイルスの影響により、異例のオンラインでの開催となりました。当大会に出場した第19期生は、4月から行ってきた成果を出せるよう、全力で挑んだ結果、見事勝利を収めることができました。この経験を生かし、来年度は後輩の勝利に貢献できるよう、精進していく所存です。

8月下旬には、オンライン上で、「密ゼミ」を開催いたしました。第18期生は卒業論文、第19期生は三田祭論文の中間発表を行いました。また、夏合宿の定番である24時間ケースメソッドのテーマは、「サントリーの新しいエナジードリンクの提案」でした。第18期生が入念に、完璧な準備をしてくださっていたため、第19期生は夜を徹しながらも、楽しんで取り組むことができました。また、最後のレクリエーションではクイズ大会を行い、皆さん大盛り上がりでした。

その後は、第19期生は三田祭論文の執筆に注力し、11月中旬には慶應マーケティングゼミ合同研究報告会にて、12月中旬には四分野インゼミ研究報告会にて、発表を行いました。第19期生は8人全員で1つの論文を執筆しており、研究テーマは「2種類のアニメ聖地巡礼動機——社会的疎外感に着目して——」でした。コロナ禍のため、様々な制限がありながらの執筆活動となりましたが、納得のいくクオリティの論文を作り上げることができ、プレゼンにおいても、他ゼミの教授の皆様から高い評価を頂くことができました。



四分野インゼミでの発表

今年度も実りの多いゼミ活動を行うことができましたのは、OB・OGの皆様のご協力あつてのことだと思っております。そこで、この場をお借りして、お世話になりましたOB・OGの皆様のご紹介をさせていただくとともに、感謝の気持ちを綴らせていただきます。

6月13日に開催されたインカレディベートに、千葉貴宏先輩（第5期）、竹内亮介先輩（第9期）が、自身が持たれているゼミの指導教授として参加されました。ありがとうございました。

11月20～23日の三田祭期間には、土屋鈴先輩（第16期）、江碯舞香先輩（第17期）が来訪くださいました。差し入れも頂き、ありがとうございました。

11月21日に行われた慶應マーケティングゼミ合同研究報告会では、高木研太郎先輩（第3期）がコメン

データとしてご参加くださいました。鋭い指摘を頂き大変勉強になりました、ありがとうございました。

11月26日に行われた本ゼミには、木幡慶斗先輩（第16期）、関口治花先輩（第16期）がご参加くださり、お話をしてくださいました。ありがとうございました。

12月3日には、入ゼミ説明会に北嶋梨紗先輩（第16期）、柳原慎平先輩（第16期）がご登壇されました。就活報告会としてお話をしてくださり、2年生はもちろん、私たち19期生にとっても非常に貴重なお話を聞くことができました。ありがとうございました。

OB・OGの皆様、お忙しいところ、貴重なお時間を割いて小野ゼミの活動にご参加くださり、誠にありがとうございました。

さまざまな小野ゼミOB・OGの方々とお話しをさせていただく機会をいただきましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、活動の仕方が大きく変化していることを日々実感します。オンラインでの活動が主であった私たち19期は、OB・OGの皆様が経験なされた、グル学での作業をしたことがありませんし、小野先生と対面で



初の対面ゼミにて

お食事をさせていただくことも、未だ叶わぬままです。

しかしながら、活動方法が変わっても、変わらず受け継がれていることも多くあります。私たちは、華々しい活躍を遂げているOB・OGの皆様の姿に憧れてゼミに入り、皆様と同様、魂を燃やしてゼミ活動に励んでまいりました。活動に対する熱意は、小野ゼミ生のスピリットとして我々にも脈々と受け継がれていると感じます。また、日々熱心にご指導くださる小野先生、先輩、OB・OGの方々常在に私たちの活動をサポートくださいました。常に小野ゼミのことを気にかけてくださる皆様の心強いサポートのもと、日々のゼミ運営を行うことができているということも、小野ゼミの素晴らしい伝統であると感じます。

来年度は、20期という節目の期を迎えます。今まで大切に培われてきた小野ゼミの伝統をこれからも大切に、ゼミ生全員にとって最適な環境となるよう全力で活動に取り組んでいく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。